

会議の名称	第6回茅野市行財政審議会		
開催日時	令和4年2月17日(木) 18時00分～19時30分		
開催場所	オンライン及び703会議室		
出席者	※出席委員等：両角会長、守屋副会長、小平委員、宮坂委員、高木委員、半田委員、鈴木委員、唐澤委員、中村委員、鶴石委員、大川委員、両角(博)委員、柿澤委員 ※市側出席者：柿澤副市長、小平企画部長、平澤財政課長、有賀P推進課長、野明人材育成担当、田中企画課長、伊藤企画係長、矢島行革・デジタル係長、藤澤主査、功刀主査		
欠席者	藤野委員、丸茂委員、		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	議事 1 開会 2 会長挨拶 3 会議内容 (1) 前回会議の確認事項について <b>資料1・2</b> * 説明及び質疑 (2) 答申内容の検討について <b>資料3</b> * 委員の意見を反映し正副会長・事務局で修正する 4 その他 * 次回審議会 3/9(水) 18:00～予定 5 閉会  議事録		
会長	1 開会 2 会長挨拶 3月に答申書を市長へ提出したい。これまでの委員意見を基にたたき台を用意した。活発な議論をいただきたい。		
事務局委員	3 会議内容 (1) 前回会議の確認事項について <b>資料1・2</b> 総合戦略についてKPI管理がされているが、実績と目標値を埋めるためにどのような対策を行って、結果KPIがどう変化したか別資料でよいので、管理したほうが良い。		
委員事務局委員	公共施設再編計画上方針未定の施設は、いつを期限に結論を出すのか。一律に設定していない。個別の施設の状況に合わせて検討する。 再編計画は、廃止や更新の費用で見た計画であり、年度の維持経費・運営管理費にメスを入れないと財政の改善には繋がらない。DXを活用して管理費を少なくする、利用料だけで維持するといった観点も必要ではないか。		

事務局	(2) 答申内容の検討について <b>資料3</b>
会長	各単元で意見を聞きたい。1 ページ目のまとめについて意見はあるか。
委員	先ほどの施設再編計画でも話題となったが、計画的に進めることや、期間を決めるような意味合いが追加されてもよい。
委員	「若者に選ばれるまち」が指す「若者」の対象について、具体的な人をイメージできる様絞った方がよい。
会長	続いて、1 住民自治について意見はあるか。
委員	「未来型ゆい」という言葉はまだ浸透していないが、具体的な説明資料はあるか。
事務局	個別の資料はないが、市の政策の様々な場面で説明している。これから地域DXを進める中で、デジタルマッチングによる新しい支え合いの仕組み作りが大きな目標になっている。今後5年間である程度形にしていきたい。
会長	続いて、2 政策運営について意見はあるか。
委員	市組織職員業務の改革の会議手法の項目は文章が長い。また、若手職員に触れた部分は意図が不明確である。
事務局	若者に選ばれるまちの取り組みの中で、職員も若手がやる気ややりがいを持つことが必要であるとの委員からの意見であった。
野明人材育成担当	若手職員がやる気を持つには、上司、管理者がそういう環境づくりをすることが必要で、今後策定する人材育成ビジョンの中で、管理者の育成を一つの目標としていきたい。表現等は検討いただくとして、そういう文化・土壌を作っていくことは必要だと感じている。
委員	今の項目に加えて、「若手職員の要職起用」を提起してあるが、提言としてはどうか。
会長	事前に検討はしたが、現行体制もあり、委員意見へ付記するに留めた。
委員	了解したが、代わりにプロジェクト型業務等で活躍できる場があることを期待したい。
委員	若手の表記もしかり、以前の資料中「改革意欲のある職員」の表現もしかりだが、一部職員だけがやる気や改革意識を持っていても意味がない。全職員が取組む姿を目指すべきであり、表現を検討いただきたい。
委員	各項目については、今後詳細検討を行うと認識している。項目出しとしては現在の内容でよい。
委員	若者や弱者の声を広く把握する。という表現に違和感を覚える。
委員	この表記については、改革内容ともリンクし、わかりやすい内容へ修正したほうが良い。
委員	ただ単に弱者と記載すると社会的弱者を指すのか、他の意図があるのかわからない。
委員	若者とか弱者とかではなく、広く市民の声を聞くことが必要で、特に耳を傾ける声については、改革項目等で触れる程度でよいのでは。
委員	若者とか弱者という特化した表現でないほうが良い。
委員	「若者の声、小さな声も含め広く市民の声に耳を傾け、それらを政策に反映・・・」の表現ではどうか。
委員	「小さな声」という表現はとても良いと思う。
委員	事業効果の広報について記載があるが、この広報は市役所担当課又は、市長どちらが行うことを想定しているか。私見であるが、若者は広報誌等見る機会が少なく、市長自らが語り掛ける方が効果は大きいのでは。
会長	広報媒体もデジタルツールなどの活用が検討できる。次年度以降に詳細

	<p>について協議したい。</p>
委員	<p>最少の経費で最大の効果という理想論が記載されているが、最少の経費で望ましい効果の表現が良いのでは。</p>
委員	<p>表現について同感である。</p>
委員	<p>行政サービスの実施に大きな経費は必要であり、最適な経費や、最善の効果の様に修正してはどうか。会議手法について触れた改革項目も同様である。最善最適といった表現にしてはどうか。</p>
委員	<p>職員の兼務活用に触れているが、民間企業では兼務は実施しない方向である。市の現状はどうか。組織が小さくなりすぎて、兼務が発生しているのでは。もう少し大きな組織でもよいのでは。</p>
事務局	<p>兼務自体を推奨しているわけではないが、職員が少なくなっている中、兼務で対応せざるを得ない状況である。</p>
委員	<p>市の組織は非常に細分化され、課や係も統合もしづらい運営となっている。逆に幅広い業務担当をする上で、兼務は良い形ではないか。</p>
会長	<p>兼務活用は再度確認したい。続いて3財政運営について意見はあるか。</p>
委員	<p>歳入確保で二つ項目があるが、弱く感じる。企業誘致を一つの柱にしてもよいのでは。大学の立地もあり、インターンシップや、企業の新しい取組みにつなげる検討が必要である。また、既存の空き施設等活用し、企業誘致につなげるといった事も検討してはどうか。</p>
委員	<p>同じく歳入確保は、イベント等広告収入の確保といった小さな項目ではなく、企業誘致の推進の様な項目があってもよいのでは。</p>
委員	<p>歳入確保の内容が薄く、人口減少を食いとめる施策の実施等を提言内容に加えてはどうか。</p>
会長	<p>公共施設再編の項目の兼ね合いも含めて検討したい。</p>
委員	<p>歳入確保に掲載があるイベント収入の確保は具体的に何を指すのか。</p>
事務局	<p>市が関わって実施するイベントも、市が負担金の多くを支出している場合があり、企業からの協賛金や主催者の自主財源の確保を拡げたいといった内容や、公共施設のネーミングライツ（例：しんきん諏訪湖スタジアム）を活用して市の財源確保を進めるといった内容である。</p>
委員	<p>財政に関しては、歳出の見直しが議論の主な論点となり、歳入策は、個別の話題に留まる傾向がある。大企業の誘致が効果的に大きい項目となるが、実現性を含めて答申までの間に検討することは困難と思われる。歳入策で具体的な内容の検討は次年度に時間をかけて整理してはどうか。</p> <p>また、健全な財政運営の推進という言葉があるが、15年ほど前の経常収支比率は90%前後で、その後5%ほど上昇し、現在93%程度の年もある。高齢化は、この先10年程ピークアウトせず、硬直化はさらに進む。この状況下で如何に90%程度まで戻すかの議論がされないまま、健全な財政運営を望むことなどできない。答申内容は良いが、個別の検討でしっかりと行う必要がある。</p>
会長	<p>最後に、公共施設の再編について意見はあるか。</p>
委員	<p>公共施設再編計画の着実な実施という表現があるが、冒頭の説明で方針未定施設が半分程度ある中では、計画を進めるだけでは不足である。</p>
委員	<p>計画の着実な実施・・・の文言は削除でよい。再編計画の中には再編の軸として優先順位の考え方が不足している。現在検討している答申でその方針が出てくるとよいのでは。</p>
委員	<p>答申内容として、方針未定施設を速やかに方針策定していくという内容が入るべき。</p>

委員	計画の着実な実施ではなく、常に見直しを進める必要があり、文章を修正したほうが良い。また、提言内容中、必要最小限の施設の特定とあるが、やはり適切な施設を残すといった表現が良いのでは。
会長	公共施設再編計画の進捗管理も本審議会が担当する範囲であり、次年度以降、方針未定施設についても検討したい。
委員	総論としてよいと思うが、施設の整理が前面に出ていて、新たな施設の考え方に乏しい。
委員	全体的にネガティブなイメージを受け取る。
委員	行財政審議会からの提言としてはネガティブな内容でもよいのでは。
委員	改革項目中、主要施策という表現があるが、何を指しているのか不明である。また、これまで縮減という表現から再編へ修正したが、さらに有効活用まで項目に入ってくると、項目の整理が不明瞭である。使わなくてもよい施設まで有効利用させることが、本審議会の検討の趣旨ではない。
委員	箱モノをどうするかがメインの項目となっており、機能をどう再編するかが伝わってこない。コロナ禍で利用できない施設もあるが、このタイミングで機能の視点で類似施設を見たほうが良いのでは。
委員	財政運営の歳出最適化と密接な項目であり、何を残して、何を新しくするのかその基準を付度なしで作成することが加筆されてもよい。
委員	今の公共施設を整理するという考え方では、視野が狭くなりやすい。既存施設の中身の質の向上と利用活動の拡大を同時に模索する必要がある。機能の精査と新しい時代に合わせた質の向上ができるのか、不要なのか仕分けが必要。再編という言葉よりも、機能と共に再構築するという言葉の方が前向きに感じる。
会長	次年度の基準作りの時に具体的に検討したい。
委員	若者に選ばれるまちという視点で、必要な施設の言及が不足している。今はないが、新しい施設も必要だという視点があるとよい。明るい未来を目指していくイメージがあった方が良いのでは。
委員	真に市民に必要とされる新しい施設の検討など、これから必要な施設の考え方を加えてはどうか。例えば、永明小中学校等、必要で地域に支持され、必要な施設もある。
会長	若者に選ばれるといった考え方は、1ページで整理した全体の考え方として整理した。個別項目にそれぞれ記載しなくてもよいのではと感じている。行財政審議会としての取組は、既存施設の再編であるとか有効活用といった範囲でよいのでは。
委員	当初、この項目は施設縮減であった。その背景は、施設維持に相当の経費が必要で、それにより財政破綻の危惧がある。その対策として諮問を受けており、現状からさらに望ましい施設の姿まで検討すると諮問の範囲を超えてしまう。どういった施設の在り方が、人口減少下又は若者に選ばれる中で望ましいのかは、別途時間をかけて協議すべき。財政の硬直化が現実問題としてある以上、それを具体的に対策していかないと、どんな望ましい状態を答申しても、作文だけの答申になってしまう。
委員	施設再編の望ましい姿として、徹底した施設縮減の実施を断行するとともに、若者世代が安心して生活できる新たな公共施設の計画が始まっている。としてはどうか。
委員	D Xの活用で、新たな施設、或いは既存施設の中身を変えることは想定できる。十分に活用できる施設を目指すという点で、前向きな形になる。
会長	施設については、現在方針未定施設が119施設あることが一番の問題だ

委員	<p>と感じている。この喫緊の課題が当審議会の主な議論となっていくと思う、いただいた意見はしっかりと付記したい。全体を通して意見はあるか。</p> <p>答申と少し離れるが、委員として確認すべき事項について触れたい。令和4年度の市の事業や予算は既に確定に近づいており、これからの見直しは不可能である。令和5年度の事業・予算は、今年の夏に担当課が検討し、10月に予算編成作業が開始される。今回の答申に沿って、見直しを行うには7月までに結論が出ていないと、委員任期中に実現することが不可能となる。ここは事務局も含めてかなりのスピード感が求められる。もう一点、高齢化による財政硬直化は10年程度深刻化していく問題である。財政のシミュレーションを複数提示してもらい、どの程度切り込んだ対策を実施して、硬直化率を下げていくのか確認する必要がある。</p> <p>当審議会が検討していく範囲は、自由に使えるとされる数千万～1億程度の範囲であり、さらにその中に受益者や関係団体との調整が必要な項目も出てくる。こう考えると、ないものねだりの答申に項目を追加しても、結局どの項目も達成できなくなる。経費や人的な負担、調整をかけずに、考え方を変えて効果を出せることをどれだけ提言できるかが問われていく。こういったことに時間と労力をかけて、7月までに成果を出さないと、時間をかけても何も達成できなくなるので、共通の認識としてほしい。</p>
委員	<p>歳入確保策の検討時に、企業誘致への言及があった。大規模事業所が茅野市に来たが、どのような波及効果があったのか、資料を提供してほしい。</p>
会長	<p>事務局で対応する。</p>
会長	<p>4 その他</p> <p><b>* 次回審議会 3/9 (水) 18:00～予定 (会議形式は別途案内)</b></p> <p>次回の会議でまとめができることを想定している。その後市長への答申書提出を予定している。</p>
副会長	<p>5 閉会</p> <p>貴重なご意見をいただいた。様々な意見があったが、次回の会議を見据えて早急にまとめと修正を行いたい。以上をもって第5回審議会を閉会とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>